

～ ようこそ天理参考館へ ～

天理参考館は、世界各地の文化や人の暮らしが分かる道具、美術品などを集めた博物館です。  
当館は、世界各地の生活習慣や歴史などの知識を深めるため、天理大学創設者、中山正善氏によって1930年(昭和5年)に創設されました。国内外から集められた収蔵品30万点のうち3千点を「世界の生活文化」と「世界の考古美術」のテーマで常設展示しています。

氏名	年 組 番
	年 月 日

1階・2階：「世界の生活文化」を知ろう

Q1：次の①～⑤の展示品はどこの国・地域のものでしょうか？( )に国・地域名を記入しましょう。

① 人力車

( )



江戸時代、庶民の移動手段は徒歩や駕籠(かご)、船などでした。明治時代のはじめに発明された人力車は、スピードが速く運賃が安かったため、全国に普及しました。それは便利さとともに新しい時代の到来を感じさせるものでした。

② 細密画「クリシュナ王子」

( )



牛の乳をしぼる青色の肌をもつ神さまであるクリシュナは、非常に人気のある神さまです。クリシュナは牛飼いに育てられました。牛はミルクやチーズを人に与えるだけでなく、クリシュナの仲間であることから、神聖な動物とみなされています。

③ チャンスン

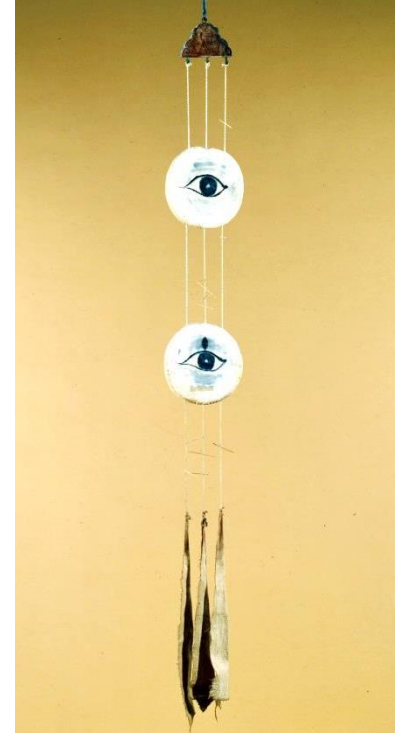
( ) 半島)



現地で「チャンスン」と呼ばれるこの柱は、まるで鬼の様な形相をしていて、胴体には「〇〇將軍」という文字が見られます。村に災いが入って来ないように入口に見張り番として立てられていたものです。近年はほとんど姿を消してしまいました。

④ 眼薬屋の看板

( )

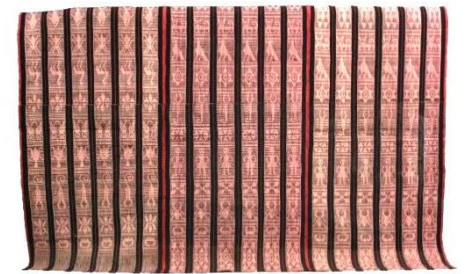


布製の2つの円盤にそれぞれ「眼」が描かれています。この図柄には、「当店の薬をつけるとこのように美しい眼になる」と宣伝しています。円盤をつるす3本の紐(ひも)に結びつけられている棒は、眼薬をさす時に使用する道具です。



⑤ 貝紫染めのスカート

( )



紫の模様を出すためには、糸を紫色に染めます。「ヒメサラレイシ」という小さい貝から採れる分泌液で染色するのですが、乱獲されたために貝の生息数が減ってしまいました。「幻の貝紫」と呼ばれることもある貴重なものです。

Q2：次の展示品はいったい何をするもののでしょうか？【 】にあてはまる言葉を記入しましょう。

⑥ 資料名：クラウ (インドネシア バリ島)



左は【 】を削るのに用いる台です。刃がついている方を頭にして、三脚の上の木に馬乗りに座り、ギザギザとした鉄の刃先で果肉を削ります。

⑦ 資料名：サトウキビ<sup>あっさく</sup>搾機 (日本 鹿児島県大島郡徳之島)



長い木の棒を牛馬にひかせて歯車を回転させ、【 】を差し込んで絞ります。その絞り汁を煮詰めると【 】ができあがります。江戸時代、奄美地方を支配下においていた【 】藩の大きな収入源になっていました。

